

平成29年10月29日(日) 13:00~16:20

大阪府立大学 I-site なんば

津波による石油コンビナート災害

—大阪の街を襲う、大阪の街を守る—

津波により石油コンビナートが流され、破壊され、油が流出すると、広い範囲に甚大な被害を与えます。このことは東日本大震災で現実のこととなりました。はたして南海トラフ巨大地震による津波が発生したとき、大阪の街を石油コンビナート災害から守れるか？最新の研究成果と防災の取り組みを紹介します。

13:00 開始

13:15 - 14:00

産業防災研究所理事長

加藤 直三 さん

KATO Naomi

大規模自然災害と 石油コンビナート防災

14:00 - 14:45

大阪大学准教授

鈴木 博善 さん

SUZUKI Hiroyoshi

複合的災害メカニズムを 解明する

15:00 - 15:45

大阪大学教授

青木 伸一 さん

AOKI Shinichi

知識と工夫で災害を 乗り越える

15:50 - 16:20

総合討論

共催：公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
大阪府立大学大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 海洋システム工学分野
大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学部門
大阪大学大学院工学研究科連携型融合研究組織 石油コンビナート防災研究イニシアティブ
特定非営利活動法人(NPO 法人) 産業防災研究所
後援：教育新聞社





第 36 回海洋教育フォーラム
津波による石油コンビナート災害
 日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）13:00-16:20
 FAX 参加申込：06-6879-7594

送付先：日本船舶海洋工学会 関西支部事務局宛

申込日：平成 29 年 月 日	
① 参加代表者氏名	
② 参加人数（代表者含む）	
③ 参加代表者のメールアドレス	
④ 参加代表者の電話番号（携帯番号可）	

- ご記入いただいた情報は、海洋教育フォーラムのイベントのみに使用させていただきます。
- FAX 申込に対する返信は行いません。なにとぞご了承ください。

キ リ ト リ



参加費：無料

当日席に余裕があれば申込なしでも参加できますが、確実に着席・講演資料を希望される場合は、事前申込をお願いします。

FAX 申込：上記申込書を利用してください。

WEB 申込：

https://www.jasnaoe.or.jp/jsn-event/20171029_mecc_osaka/

開催会場はこちらです。

地下鉄御堂筋線・四つ橋線「**大国町駅**」下車、1 番出口より東へ徒歩 7 分

地下鉄堺筋線「**恵美須町駅**」下車、1-B 番出口より西へ徒歩 7 分

大阪府立大学 I-site なんば (<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/>)
 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第 1 ビル 2 階

講演プログラム

- 13:00~13:15 開会 小林 正典（日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会委員長）
 海のこともっとみんなで知ろう
- 13:15~14:00 大規模自然災害と石油コンビナート防災
 講演者：加藤直三（NPO 法人産業防災研究所理事長・大阪大学名誉教授）
 1964 年の新潟地震時の石油タンク火災事故から、これまで大規模地震・津波発生時の石油コンビナートからの油流出に伴う津波火災の災害が起きている。人口密度の高い湾岸地域の中でも大阪湾は、想定されている南海トラフ大地震発生後に発生する津波の影響を最も受けやすい。まず、津波火災の事例とそこから得られる教訓を述べる。次に、どのように油類が陸上・海上へと拡散して行くか想定されるのかを、市街地地図と合わせて見ていく。
- 14:00~14:45 複合的災害メカニズムを解明する
 講演者：鈴木博善（大阪大学准教授）
 石油コンビナート等の災害に伴う危険物質の流出のリスク評価、およびそれらの減災対策をとることは緊急の課題である。大阪大学を中心に、石油コンビナート防災研究イニシアティブを結成し、複合的な特性を持つ石油コンビナート防災に対し、発災メカニズムやシミュレーションモデルの開発、陸域と海域を含む影響伝播過程解明と統合型ハザードモデルの開発、陸域と海域における防災・減災対策を検討している。これらの内容を紹介する。
- 15:00~15:45 知恵と工夫で災害を乗り越える
 講演者：青木伸一（大阪大学教授）
 レベル 1（M8 クラスの地震）とレベル 2（M9 の地震）に分ける南海トラフ地震・津波に対する防災の考え方に対して、企業責任で実施する石油コンビナート防災の取り組みはレベル 2 に対して十分ではなく、周辺に影響をもたらすレベル 2 災害に対する企業責任が明確ではない。このことから、企業のリスク開示が抑えられ、市民の避難行動計画に組み込まれていない。二つの防災の融合の立場から、これまでの試みや問題点を述べる。
- 15:50~16:20 総合討論 - 私が考えるコンビナート防災 -
 進行：石黒慎二（三菱重工業㈱・実行委員）
 講師と参加者でコンビナート防災について意見を交わします。
- 16:20 閉会 箕浦宗彦（実行委員長）



第 36 回海洋教育フォーラム事務局代表 箕浦宗彦
 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

お問い合わせ：https://www.jasnaoe.or.jp/jsn-event/20171029_mecc_osaka/
 WEB 申込画面のご意見欄に「問い合わせのみ」と付記して下さい。この場合、「申込み」のチェックは事務局にて無効とします。参加申込みされる場合はあらためてお申し込み下さい。

WEB 申込およびお問い合わせはこちらからもできます